

マレーシアにおける医療機器市場の概況

講師 岩田 真宜

ジェトロ中小企業海外展開現地支援プラットフォーム
コーディネーター

Higashi Medical Solutions 代表

ホームページ: hms-malaysia.com

7th of September 2021.

JETRO Healthcare Seminar via Zoom

JETRO
Kuala Lumpur



本日の講演は下記のような企業様へ特にお勧めです

- ・マレーシア医療機器ビジネスに関心をお持ちの企業様
- ・特にIT、介護分野での進出を検討している企業様

講演会を聞くメリット

1. マレーシア医療機器市場に関する情報収集
2. 介護分野、IT分野のビジネス規制、注意点の情報収集
3. 候補代理店等に関する情報収集

いわた まさよし

代表 岩田 真宜



1972年生まれ、熊本県出身

2012年医療機器メーカーマレーシア駐在員

2016年マレーシアにてHigashi Medical Solutions起業

業務内容: 主に医療機器メーカーの海外展開をサポート
海外進出のご相談や市場調査が主な業務

2017年よりJETRO KL ヘルスケア分野コーディネーター(現職)

【コンサルティングの実績】

- ・海外展開(海外展開全般)に関するコンサルティング(日系企業)
- ・医療機器代理店アドバイザー(在マ)取扱品目RTKkit、オキシパルスメーター他
- ・ヘルスケア商品需要調査(県委託業務) 他

【セミナー講師実績2021】

- ・MTJapan 医療機器メーカーの海外進出の進め方(2月)
- ・JETRO KL マレーシア医療機器産業について(3月)

ライフワークは 『僻地医療支援』

通称:メディカルキャンプ:近くに病院がないエリアへメディカルチェックアップへ



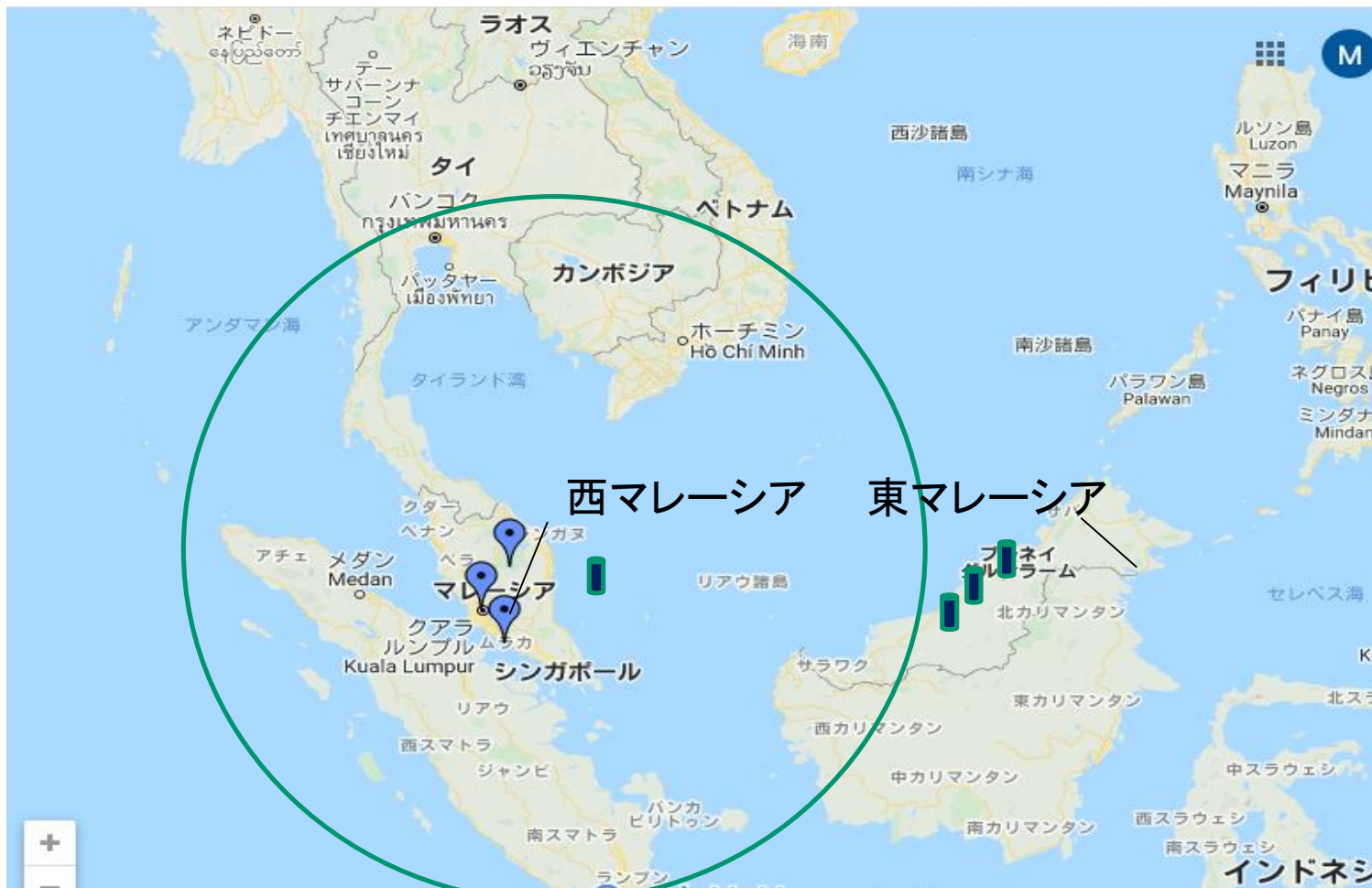
病院から車で8-10時間。4駆 40-50台で医薬品、医療機器、水食料持参



* メディカルキャンプのレポートは HMSのウェブサイトニュースのページまで。スポンサーも随時受付中。
Copyright © 2021 JETRO All right reserved. 禁無断転載。

マレーシアの紹介

日本から6時間半 JAL(成田)とANA(成田・羽田)の直行便あり 特徴:石油が採れる



ASEANで戦略的な地理(タイ、シンガポール、ミャンマー、インドネシア、フィリピンと国境)
バンコク、シンガポール、ホーチミンなど主要都市へ2時間のフライトで移動可能

マレーシアの紹介

気候はすごしやすく、ゴルフが安い
物価もそこそ、英語が通じる！ 悪くない

マレーシア料理
ナシレマ(国民食)



レジャー

ゴルフ

サテー



ドリアン



レダン島



本題：マレーシア医療機器市場の概況

1. マレーシアの医療機器市場
2. マレーシアのコロナの現状
3. ヘルスケアIT化の状況
4. 介護市場の状況
5. まとめ

アセアン主要6カ国の医療機器市場と国別シェア
(2018)

	国名	市場規模 (USD 百万)	割合 (%)
1	マレーシア	1,554	24
2	タイ	1,524	23
3	ベトナム	1,291	20
4	インドネシア	969	15
5	シンガポール	637	10
6	フィリピン	503	8
	合計	6.5	100%

出所: AMMI2020 レポート等を基にHMSにて作成

マレーシアはアセアン医療機器市場No1(24%)

2017⇒2018年で**9.5%**成長

1. マレーシアの医療機器市場

	タイ	ベトナム	マレーシア	
面積 万Km ²	約51 (日本の約1.4倍)	約33 (日本の約90%)	約33 (日本の約90%)	
人口(万人) 2019	6,963 6,537(2050) 減少	9,646 11,463(2050) 1.19倍	3,195 4,173(2050) 1.31倍	
平均年齢	38歳	31歳	28.5歳	マレーシア統計局 (2021)
65歳以上の人口 2015⇒2019	10.6%⇒13.5% 高齢化社会	6.7%⇒7.7%	5.9%⇒7.2%	65歳↑7.4% 236万人
一人当たり名目 GDP 2019	7,808ドル	2,715ドル	11,415ドル ベトナム比 約4倍	60歳↑11.2% 358万人
医療機器市場規模 百万ドル	1,524 アセアン2位	1,291 アセアン3位	1,554 アセアン1位	60-64歳 122万人
医療機器市場規模/ 人口	22.2ドル	13.8ドル	50.6ドル	65歳↑ 国連人口予測 2030年353万人 2050年680万人

今後高齢化が一気に進み、医療機器市場は継続成長

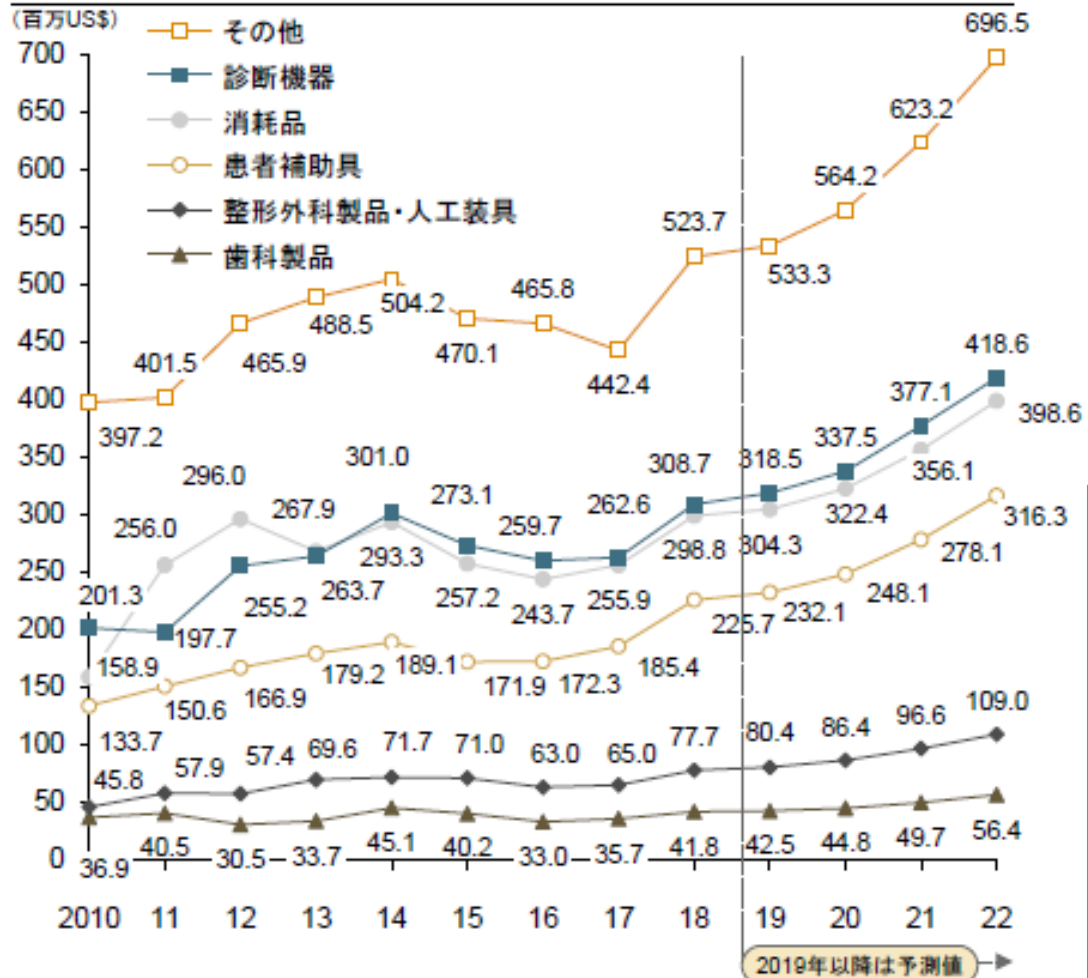
専門医の増加が高度医療機器の使用拡大を後押し

※為替レート2016年

		2001	2009	2016
人口(百万人)		22.7	28.0	31.0
一人当たり国民総所得		4,671ドル(2004)	7,166ドル	10,926ドル(2014) 9,494ドル(2015)
総医療費		約3,400億円	約9,300億円	約12,000億円 (2014) 3.5倍
病院数	政府系	約110	約130	143
	私立系	約220	約250	183
ベッド数	政府系	約30,000	約33,000	41,389
	私立系	約10,000	約12,500	12,963
医師数		15,503人 (1999)	30,536人	46,491人
看護職員数		27,675人 (1999)	88,952人 (医療助手等含む)	114,649人

医療機器別 内訳 トップ5と今後の見通し

医療機器別市場規模 2018年市場規模合計1,554百万ドル



(出所) いずれもBMI Research「Worldwide Medical Devices Market Forecasts 2019」

トップ5

1. その他(治療機器、IVDなど)
2. 診断機器
3. 消耗品
4. 患者補助具 車椅子など
5. 整形外科製品

今後の見通し

プラス面

- ・人口増加と高齢化によるニーズの拡大、医療従事者の増加による全体的には市場の拡大が続く。

マイナス面

- ・分野により影響度合いは異なるが、メディカルツーリズムの一時的な減少、不要不急な手術の見直しによる症例数の減少などコロナによる影響が一部残るか。

クアラルンプールの現状 : Higashi Medical SolutionsよりKL中心部(北)を望む。

←ペタリンジャヤ

MidValley
車で3分

KL 中心部
車で20分

新規感染者 2万人/日前後を推移
死亡者 330人/日前後を推移

ワクチン:

必要回数のワクチン完了 49.4%

1回以上接種完了 63.9%

*出展: Our World in Data

国家ワクチン接種計画(PICK)

目標: 2021年10月-11月までに全成人の接種完了

SOP (Standard Operating Procedure)

- ・公共の場でのマスク着用
- ・スマホによるQRコードで行動履歴
- ・特定の施設ではワクチン証明書の提示*

ワクチン接種完了後14日後から

- ・買い物(ファッション関係)、美容院(散髪のみ)
- ・レストランで飲食可能(人数制限や別途SOPあり)

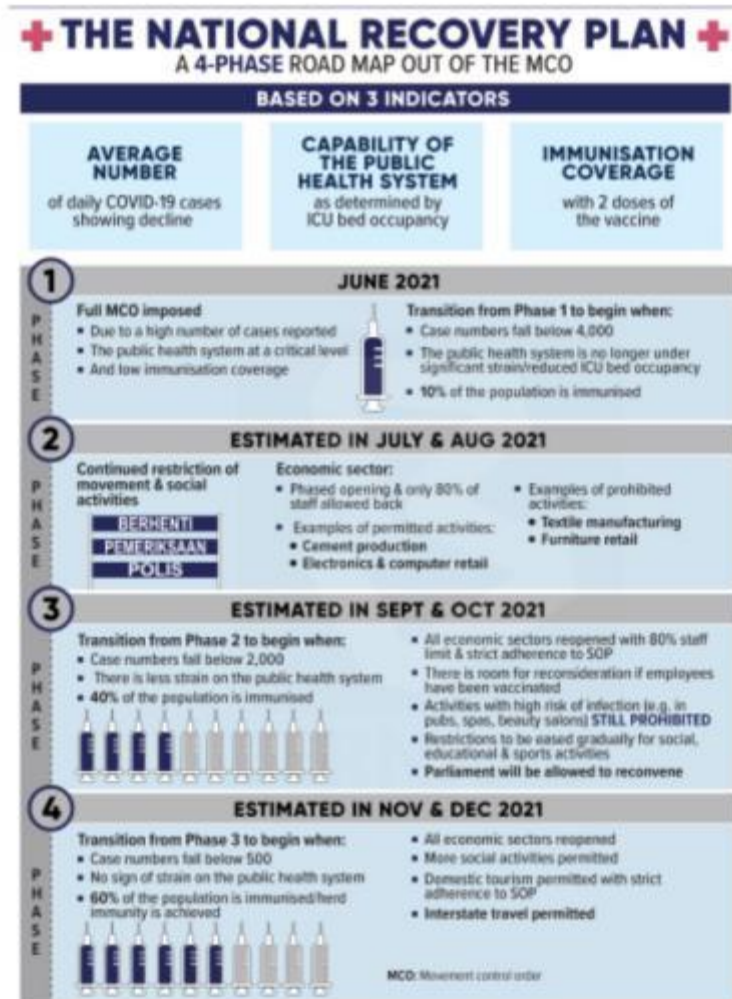


体温チェックと入店記録(上)
ワクチンデジタル証明書(下)



マレーシア国家回復計画

ワクチンの接種率や病床の状況により
経済を段階的に回復させる計画



Source: Malaysian Prime Minister, Tan Sri Muhyiddin Yassin

Published: June 11, 2021
Berneama Infographic

目標

2021年の11月、12月くらいまでに
国民の60%が免疫を持っている状態

- ・全セクターでの営業が再開
- ・州をまたぐ国内旅行が可能

ブレークスルー感染も発生。予断は許さないが、重症化の患者は減少傾向、ワクチン接種完了者も増え、街に活気が戻りつつある状況。

長期に活動制限や自粛で我慢も限界？



香港の同僚から
マスクのプレゼント

皆さん、希望を持って
もう少し頑張りましょう

ヘルスケアITの近年の動き(国全体)

2010年代 データ構築に向けた動き

myHDW構想 (SMMPR ver2 , PRIS....)

(Natinai Healthcare Data Warehouse by MIMOS berhad)

2017年にmyHDW稼動開始

Private と Public間の連携を想定し、患者情報を交換

HISと連動し2次データにてデータ分析やKPIに活用

2020年私立病院の積極的な参加を推進

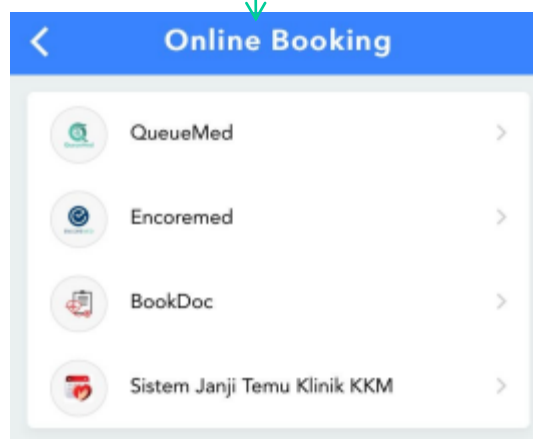
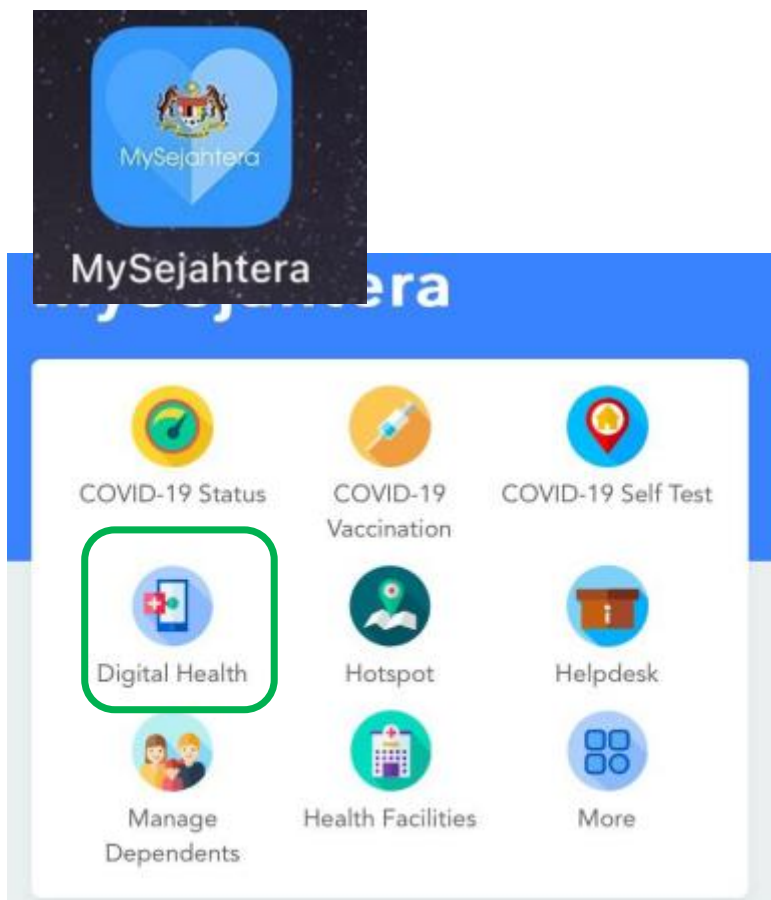
コロナを契機に国全体としてのデータの一元管理が進む方向へ進化。現在は、データベースを駆使して、コロナ患者の搬送先などICUのベッドの状況が見える化を実現。

ヘルスケアITの近年の動き(サービス)

- Digital Health hubが2016年最初にサービスを開始
5つの分野(遠隔医療モニタリング、テレメディスン、スマートアクセス、アドヒアランス(投薬相談)、企業健康サービス)
- Doctor On Call health : 2016年
患者と専門医をつなげるサービスを提供

- MySejahtera(2019年) マレーシア政府が開発したアプリ
 - ・コロナの追跡アプリ、ワクチン予約システム、ワクチン接種デジタル証明書
 - ・ワクチン情報、コロナ新規感染者の情報
 - ・バーチャル診療(Doctor2U)、薬の購入(Pharma2u)
 - ・クリニックアポイント取得(BookDoc, QueueMed, Encoremед他)

MySejahteraの登場でパラダイムシフトが発生



従来: 病院へ行って、診察を受ける。処方箋もらう。薬局で薬をもらう。ほぼ一日仕事
現在: オンライン診療、薬の処方、配達までほぼアプリで完結。

ヘルスケア ITビジネスのチャンス

1) 強力なプラットフォームの登場で市場が大きく変化。

ITには追い風。アプリの導入は複数のハードルが存在。

2) 参入を検討する際は、下記関連の規則に注意

- Personal data protection Act 2010 (PDPA)
- Private Hospital Facilities and Service Act 586
- Public Sector Cyber Security Framework (RAKKSSA)

3) ソフトウェア関係の医療機器登録はまだMDAで準備中のため、導入戦略や商品登録の対応について注意が必要。一方、AIによる糖尿病性網膜症の画像診断が研究評価中などAI分野の医療機器の評価も進んでいるのでチャレンジするにはマレーシア市場も候補のひとつ。

参考

ヘルスケアIT系の代理店リスト一覧

HATI International	https://www.hatiintl.com/
Nalvi Hidup Sdn Bhd	https://www.naluri.life/corporates
Napier Healthcare Sdn Bhd	https://www.napierhealthcare.com/
Starteq Group	https://starteqgroup.com
QueueMed	https://qmed.asia/en
Avanade	https://www.avanade.com
Hong Seng Consolidated Berhad	https://www.hongseng.com.my
Meridian Project Management Sdn Bhd	http://mpmsb.net
MHNEXUS Sdn Bhd	http://mhn.asia

JETROマレーシアバイヤー調査レポート 2021年8月23日公開

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2021/02/c5d2f79bd2a55d5d.html>

日本との比較

	日本	マレーシア
65歳以上の人口比率	28.7%	7.4%
65歳以上の人口	3,617 万人	約236万人 (約1/15)
介護施設の形態	政府民間あわせさまざまな形態のサービスあり。施設設備も充実。介護老人福祉施設、有料老人ホーム、グループホーム(認知症対応型)など。	民間主体。私立病院が運営する介護施設もあるが、NGOや企業が運営する介護つき有料老人ホームがメイン。(ケアセンターとナーシングホームが混在)コストを抑えた施設が多く、感染防止の観点から個人負担の備品も多い。
サポートする親族や子供や価値観など	一般的に世話する兄弟の数が少なく家も狭い。施設を見つけるのも難しい。介護する側の人手不足。 お風呂文化	世話する兄弟が多く家も広い。親の面倒を役割分担をしてみる風習。施設に預けるのは一部(マレー系)で社会的非難や抵抗アリ。またメイド文化(約5万円から)看護師の派遣など介護する側の人手も多く、選択肢多い。 シャワー文化

出展: 総務省統計局、Domestic Statistics Department of Statistic Malaysia

Nursing Home: 高齢者介護付きサービス施設

Heritage Care Service Centre



撮影: Higashi Medical Solutions

<https://www.malaysianow.com/news/2021/08/02/post-covid-era-to-see-more-seniors-in-need-of-care/>

- ・住宅街にあり、一見普通の住宅。内装を改装したパターンが一般的。
- ・スタッフは外国人(フィリピン看護師が多く見られる)が多い、ローカルは少ない。
- ・認知症の受け入れなど、対応可能な範囲は施設により異なる。
- ・通常デポジットと月額使用料の支払い(料金は入居者の介護度により異なる)。

介護分野のビジネスチャンス

介護施設運営

- ケアセンター(老人、障害者等の受入も可。医療行為不可。リハビリなし) Care Center Act 1993 (限定的な施行)
- ナーシングホーム(医療行為可能、リハビリプログラムや設備も充実) Higher Standards of care under the private aged healthcare facilities and service act 2018. (限定的な施行)
- 外資法:外資は50%を超えることが出来ない

現在の法令では強制力が強くなく、ケアセンターとナーシングホームが乱立。特にケアセンターは医療従事者以外でも運営が可能。ケアの人数も1人当たり10人以上、リハビリ機能もなく、医療行為もできないと課題が多い。今後、法令を強化する方向で議論が進む予定。規制強化により、ナーシングホームの増加や、リハビリ関連設備の需要、、高齢化人数が増加により、介護施設、または介護関連商品の需要が高まることが予想される。

介護分野の課題

介護関連商品：医療機器庁への商品登録が必要

日本：福祉用具や雑品扱い

(コロナで若干遅延発生)

マレーシア：医療機器 クラスA 申請期間30日

クラスAの一例 車椅子、杖。

杖、介護ベッド、眼鏡などは、商品登録が

参入のハードルの一つになっている。

商品登録の詳細はマレーシアにおける医療機器の輸入制度(2017年3月発行、2020年2月改訂)レポート参照 <https://www.jetro.go.jp/world/reports/2020/02/158c89e1f7b5ad9e.html>

代表的な介護施設分類と紹介

マレーシアには1300以上の介護施設(Care centreとNursing homeの合計)があるといわれている。Nursing HomeはMOHのライセンスが必要

1)リタイアメントビレッジ

Eden on the park (Sarwak)

2)私立病院が運営する施設

KPJ group, Columbia Asia, Ton Shin HP

3)高齢者サービス住宅:小規模 * Care CentreとNursing Homeが混在

Private : Aged care Group, Heritage Care Service, Homage

Gov/NGO : Lions Nursing Home

*Long waiting list

4)Specialized service: 認知症

Dementia Homecare centre

参考

介護関係の輸入販売業者リスト一覧

OMEDIS HEALTHCARE Sdn Bhd	www.omedis.com.my
5 Lines Malaysia Sdn Bhd	www.5linesmalaysia.com
Taraf Synergy Sdn Bhd	www.tarafsynergy.com
Commermega Sdn Bhd	www.commermega.net
Ritz Medical Sdn Bhd	http://www.ritzmedical.com/
Medi-Care Products Sdn Bhd	https://medi-care.com.my
Neolee Rehab Supply Sdn Bhd	https://www.neolee.com.my/
Rehab Supply Sdn Bhd	https://www.rehabsupplies.com.my/
Medi Lifesports (M) Sdn Bhd	http://www.lifesports.com.my/
Ikatan megah medik Sdn Bhd	http://www.ikatanmedik.com

MDAへの医療機器の流通業としての届出をしている企業
ECサイトを積極的に展開している企業あり。

マレーシアにおける医療機器等の輸入販売業者調査(2021年7月) 調査レポート
2021年8月23日公開

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2021/02/c5d2f79bd2a55d5d.html>

まとめ

1) マレーシア医療機器市場

過去20年の成長実績、今後も人口増加、経済成長、医療費予算の増加、医療従事者の増加を背景に、医療機器市場全体の拡大が見込める『アセアンNo1』市場であるマレーシア。特に専門医の増加による高機能医療機器の需要拡大が期待できるのではないかと。

2) ヘルスケアITビジネス

個人情報保護法やデータセキュリティなどの規制、データベースなど、プラットフォームの環境が既にある。スマホアプリ関連の新規参入は早めが良さそうだ。

3) 介護関連ビジネス

これから加速する高齢化、法整備などによる市場の拡大が期待できる。パートナーを探す時間やMDAへの『医療機器登録』をする期間を考慮すると行動を開始するには、今が良いタイミングではないかと。

調査レポートのご紹介

1. JETRO医療機器輸入制度に関するレポート マレーシア 2020年3月

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2020/02/158c89e1f7b5ad9e.html>

2. JETROマレーシア医療機器産業レポート 2021年6月11日

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2021/01/1b55e1fcd52c627d.html>

3. JETROマレーシア医療機器バイヤーリスト 2021年8月23日(新着)

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2021/02/c5d2f79bd2a55d5d.html>

調査レポートの執筆協力

4. 経済産業省平成30年度国際ヘルスケア拠点構築促進事業マレーシア編

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/iryou/downloadfiles/pdf/countryreport_Malaysia.pdf

お知らせ:医療関係展示会

JETRO
Kuala Lumpur



7TH SELANGOR INTERNATIONAL EXPO 2021 MEDIC

SELANGOR INTERNATIONAL HEALTHCARE CONFERENCE 2021

Date: 19 - 21 November 2021
Venue: KLCC, Kuala Lumpur

It is held in conjunction with the 5th Selangor International Business Summit 2021 (SIBS 2021), an initiative by the Selangor State Government and organised by Invest Selangor Sdn.

Healthcare as an industry is accelerating and changes are evolving at an unprecedented speed to face the challenges nationally and globally. In this environment of great disparity and challenges arises opportunities. Many other areas in the delivery of health care are progressing swiftly to meet these challenges and demand. The Selangor International Business Summit 2021 will be the right platform to forge partnership and collaborations in adopting these innovations.

The objective of the conference is to engage stakeholders on a common platform to address healthcare key issues and find innovative solutions. It shall highlight latest developments in three main areas of healthcare.

The main topics for the three days would be:

CONFERENCE MAIN TOPICS
Day 1 - Infection and Vaccination
Theme: Educate to Prevent

Day 2 - Senior Living and Care
Theme: Conceptualisation to Construction to Consumerisation

Day 3 - Digital Health
Theme: Vision, Mission to Realisation

CONFERENCE PROGRAMME
The conference programme shall have keynote addresses, invited speakers, successful project presentations and in-depth panel discussion/forum. The aim is to engage the panelists and the delegates for substantial exchange of ideas and solutions. To take away incremental but substantial solution in the three main topics of discussion.

日時:2021年11月19日ー21日

1. フォーカス分野

・デジタル、介護、感染症対策

2. 参加人数:150人限定(オフライン)

ハイブリッド開催オンライン参加可

3. 費用:3日間約1万円(9/30申込)

展示会参加のお申し込みは直接

<https://infomed.com.my/Conference2021>

* ブース展示参加のご相談はHMSまで

本日はご静聴どうもありがとうございました。

海外進出に関する各種ご相談、サポート、
市場調査などを受け付けております。

マレーシアの医療ビジネスに関することなら
Higashi Medical Solutions !

問合せ先: info@hms-malayisa.com

免責事項: JETRO, Higashi Medical Solutions Sdn Bhd は、本セミナーの情報に関して生じた直接的、間接的、派生的、特別の、付随的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、それが契約、不法行為、無過失責任、10あるいはその他の原因に基づき生じたか否かにかかわらず、一切の責任を負いません。